
フライングパイレーツ
ネバーランド漂流記

貞方祥
ver.1.000

登場人物

水野 曜

犬山 奈々

熊本 舞子

鏡橋 純

ピーターパン

キャプテンフック

スミィ

チクタクワニ

タイガーリリー

ティンカーベル

【ロストボーイズ】

トウトルズ

スライトリ

カーリ

【マーメイド】

アリエル

ベル

ジャスミン

【ロジャー海賊団】

スターキー
スカリー
ビツキー
シルバー
ジュークス
ルフィーナ
テイント

開場時。

波の音。海鳥の鳴き声も聞こえる。

舞台や客席にはロジャー海賊団たち。

舞台上ではスターキーとビツキーがパフォーマンスを繰り広げている。

ドクロの旗を持っているルフィーナ。

シルバーとテイントは舞台前に座って、酒盛りをしている。

スカリーやジュークスは観客を銃で脅して席まで誘導したり・・・

○海賊船

開演を知らせる音楽が流れる。

ロジャー海賊団の副長スミーが登場。

舞台上に整列する海賊団。

スターキー「注ぐ目！」

スミー「只今より、ロジャー海賊団の掟を述べる」

全員「掟を述べる」

スミー「この会場、すなわちこの船にご搭乗の諸君にも守って頂きたい。ひとつ。携帯電話の電源は切

ること」

全員「携帯電話の電源は切ること」

ルフィーナ「時計のアラームとかもですか」

シルバー「もちろんだ。鳴るとけっこう周りの冷たい視線を受けるぞ」

スミー「ひとつ。この船での飲食喫煙は禁止だ」

全員「飲食喫煙は禁止だ」

ビッキー「おやつは300円までですか？」

テイント「あまり関係ない」

スミー「ひとつ。この船での関係者以外による写真撮影・録音は禁止だ」

全員「写真撮影・録音は禁止だ」

スカリー「もしもそんなことしたら文字通り海賊盤ですね」

ジュークス、持っている銃でスカリーの足元に発砲する。銃声が響く。

スミー「そしてこれが最も重要な掟だ。ひとつ。大いに笑い、大いに楽しむこと」

全員「大いに笑い、大いに楽しむこと」

テイント「ただし私語は厳禁だよ」

ジュークス「つまらなそうにしてたら撃つ」

スターキー「可愛い顔してるけど、やるときゃやるよ」

スミィ「最後までこの航海をゆっくりと楽しんでくれたまえ。それでは、船出だ。錨をあげろ！」
全員「ヨーホー！」

スミィ角笛を吹く。

それを合図にドクロの旗を大きく振るルフィーナとシルバー。

学院メンバー以外、全員海賊姿で登場。

その中央には海賊の姿をした水野曜。

陽気に歌い踊る曜と海賊たち。

♪錨をあげろ〜海賊の唄

風を帆に受けて どこまでも突き進め

船出だ 錨をあげろ！

七つの海を越え 冒険の旅出よう

怖いものなんてないよ

仲間と手と手を取り合い 力合わせて見つけた

この未来への夢だけが宝物

君が望むなら この船に乗れば良い

明日を変えるつもりなら

風を帆に受けて どこまでも突き進め

船出だ 錨をあげろ！

何度も尋ねたって 答えはひとつだから

目指すものなんて自由だからね

心の羅針盤 見てごらんよ

必ず 今、進むべき道だけを指している

君も行くのなら この船に乗れば良い

自分を変えるつもりなら

風のゆくままに どこまでも突き進め

船出だ 錨をあげろ！

チクタクワニとデュエットでダンスを踊る曜。

突然アライムの音。

ドクロの旗が曜の身体を遮ると、曜は一瞬のうちにパジャマ姿へと変わる。
周りの海賊たちも消えている。

母の声「起きなさい！遅刻するわよ」

曜「えっ！」

○夢苑女学院・教室

席についている鏡橋純。

犬山奈々が入って来る。

奈々「おはようございます」

純「おはようございます」

挨拶を終えると自分の席に着く。

熊本舞子がクマのぬいぐるみを大切そうに抱えて入ってくる。

舞子「おはようございます」

純・奈々「おはようございます」

舞子も席につき、クマのぬいぐるみにお別れの挨拶をして鞆にしまう。
チャイムの音。

舞子「水野さんは？」

純「今日も遅刻のようすわ」

奈々「またですか？ 金丸先生が不機嫌になられると、私たちまで・・・」

教室に入ってくる女教師の金丸。

金丸「ワタクシがどうかしたございますか？」

奈々「あ、いえ、別に」

金丸「別になんございますか？」

純が救うように号令をかける。

純「起立、気を付け、礼」

全員「おはようございます」

金丸「皆さん、おはようございます」

奈々、純にありがとうと目で合図を送る。純もそれに答える。

金丸「さて、このホームルームの時間は、皆さんの今後の進路についてお話する予定です。我が名門夢苑女

学院の卒業生は、日本のみならず世界中の政財界の中心となる人材ばかり。貴女方も先輩たちのような立派な道を歩んで行って欲しいと思います。鏡橋さん、貴方はどんな将来を考えていると思いますか？」

指し棒を曲げながら話す金丸先生。フック船長の義手のようにも見える。

純「私は、医学を学び、父の病院経営を引き継ぎたいと考えております」

金丸「お父様も立派な方になりますからね。よろしくお伝え下さいと思います。では次に、熊本さん」

舞子「私は、母のファッションブランドの世界展開に向けた事業の、ホールディング企業設立を目指しています」

金丸「さすがが違います。夢苑女学院の生徒はこうでなくはいけないと思いますね。ご両親や学校が貴女方の為に敷いたレールは、貴女方の輝かしい未来につながっているに違いありません。犬山さんは、やはりお父様と同じお仕事を目指すと思いますか？」

奈々「はい。そのように考えています。警視庁長官である父の、日本の正義を守るという意志を継ぎ、キャリアとしての実績を積み重ねていきたいと思っています」

遅刻してくる曜。教室の後ろからこっそりと入って来る。

金丸「立派なことだと思いますよ。えく、続いては水野さん。・・・水野さん？」

曜「はっ、はい！」

金丸「あなたのことだからまた遅刻かと思っただと思います」

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

フライングパイレーツ（おためしサンプル）
ネバーランド漂流記

2011年4月14日 初版発行

著 者 貞方祥 © 2011年
発行者 石村寛之
発行所 有限会社レトロインク
〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7
電話 0422-49-2903
